

家族で道徳《保護者意見》

「ほほえみと拍手が絆をつくる」～兵庫県道徳副読本「心かがやく」から～

家族の方から ※ご協力よろしくお願いします。

家族の方が忙しい場合は、どのような話をしたか書いてみましょう。

母と、苦い時や辛い時、我が子のほほえみにとほほえんで助けられ、励まされてきたのよりのせいです。それだけ、赤ちゃんと幼子のほほえみには大きなパワーがあり、これに。今、中学まになり、笑顔の中にも、いろんな感情があり、小さな頃とは意味が違ってきていると思います。でもそれは成長の過程であって、私は悪いとは思っていませんが、ただ大人になっても、大人になっても、紙料に笑める仲間や家族と守ってほしいと大事にしたいと思っています。

家族の方から ※ご協力よろしくお願いします。

家族の方が忙しい場合は、どのような話をしたか書いてみましょう。

人間は、考え、行動する事によって成長していくんだと思う。赤ちゃんの「ほほえみ」は、周囲の人達の癒しにもなっているんだと思う反面、大人は癒しが必要だと感じる程に色々な事を考え、行動し、疲弊しているんだらうなあと気付く。自分の事でいい、いいにしているから、他人の気持ちに気付きにくいんだらうし、絆を深める事も困難なのかな？と悩んでほう。心に余裕を持ち、他人との出会いで色々な事を学び、お互いに成長出来る、心寄り添える人との絆が結ばると良いなと思う。

家族の方から ※ご協力よろしくお願いします。

家族の方が忙しい場合は、どのような話をしたか書いてみましょう。

あなたと赤ちゃんの頃、ほほえんでくれただけで幸せになり、この笑顔を守るために生きていき、その想ったことを思い出しました。大きくなった今も、笑顔を見るとすっくとします。笑顔のない日は何かあったのかな？と1日自分に なります。成長すればするほど、辛いことも増えるかもしれないけど、あなたがホッと笑顔になれる場所が家であり、友だちとの場であることを願っています。

家族で道徳《保護者意見》

「ほほえみと拍手が絆をつくる」～兵庫県道徳副読本「心かがやく」から～

家族の方から ※ご協力よろしくお願ひします。

家族の方が忙しい場合は、どのような話をしたか書いてみましょう。

■が生まれたとて、家族皆が笑顔になりました。人見知りをしてほとんどひきかたので、出会う人に出会う人に「ほほえみ、色んな方が声をかけてくれました。親・祖父母(おじいちゃん)に笑顔(愛想笑^{あいせう}い)を見せていたことで、今でも人に出会っても笑顔で返している姿を見て、真^まが育^{そだ}ちて来^こているなと嬉^{うれ}しく思^{おも}いました。声をかけられても嫌な顔をせず接^あいさそうので、「■君、ホッとおかしいなあ、ええ子やな。」と言^いってもらえる。「笑顔」が人と人のつながりを作っている。改めて「笑顔」が大事なだと話をしました。

家族の方から ※ご協力よろしくお願ひします。

家族の方が忙しい場合は、どのような話をしたか書いてみましょう。

人の笑顔、笑顔には本当に自然と人の心を動かすものだと思^{おも}っている。特に幼^こい孩^ごの笑顔は言葉ではない自然な心のあらわれで、こちらを優しく気持ちになたり、心もほぐれたり気持ちよくなる。愛情を思^{おも}いだら、注^{ちゅう}意^いが表情で返^{かえ}る孩^この笑顔は親^{おや}にして本当にいとおかしくて大切な物^{もの}で、今表面をつくらせて生活を送る人が増^まえているのが思^{おも}いだが親^{おや}にして子^こ供^ごには愛情豊^{あま}かに離^{はな}れ対^{たい}して表面をつくらせて接^あいささる人^{ひと}にな^なってほ^ほしいと思^{おも}い

家族の方から ※ご協力よろしくお願ひします。

家族の方が忙しい場合は、どのような話をしたか書いてみましょう。

■が赤ちゃんの時のことを思^{おも}い出^だしました。言葉^{ことば}を話^{はな}せなくても、笑^{わら}ってくれただけで、とてもうれしく、心^{こころ}がいやされました。笑顔は、相手の気持^{きもち}ちをあたたかくしてくれま^さす。人と人とのつな^{つな}がりを大切に、笑顔^{えがよ}を心^{こころ}がけて下^{くだ}さい。

家族で道徳《保護者意見》

「ほほえみと拍手が絆をつくる」～兵庫県道徳副読本「心かがやく」から～

家族の方から ※ご協力よろしくお願ひします。

家族の方が忙しい場合は、どのような話をしたか書いてみましょう。

「ほほえみ」が、生後2～3ヶ月から、こころの意味があったかたんと親かたつていながら初めて知ることはおどろきかおもしろ。もう日頃赤ちゃんが接することがたくさん、志んかたつておもしろいと赤ちゃんが笑うと周りも笑顔になりおもしろ。幸せな気持ちを受けあっているところは空気がなによりおもしろ。今はいろいろと手段が飛達して、知りもしない人のことを傷つたり批判したりするのをよく耳にしておもしろ、とておもしろい食事も癒します。この「ほほえみ」の話と心とどめて笑顔と心かたつていとおもしろ。

家族の方から ※ご協力よろしくお願ひします。

家族の方が忙しい場合は、どのような話をしたか書いてみましょう。

子供たちの幼少期を思い出しました。純粋無垢な、見ている大人たち全員を癒してくれる、そんな「ほほえみ」でした。1、04ハハと両手をにたくようにしていても、赤ちゃんはよくしています。成長するにつれ、様々なことを覚えていくため、どうしても幼児のようには「ほほえみ」していきなりおもしろ。横山氏の文を聞いて、改めて、笑顔を「ほほえみ」コミュニケーションを取っていること思い出しました。

家族の方から ※ご協力よろしくお願ひします。

家族の方が忙しい場合は、どのような話をしたか書いてみましょう。

私自身、毎日の忙しさにおゆえ、子供の顔を見てゆくり話の時間がない事に気がつくようになりました。しっかりと子供の声を聞いてやる様子は変化に気がつくゆえおもしろ。少しは、幼い頃感じた成長の嬉しさを忘れない様子は日々を暮らしている様子はしています。